

教師も考えたことのないような「影響」を考えてくれます。歴史の授業で今の世の中の理解を深めていきます。

歴史以外にも社会科ではユニークな授業があります。比較文化、政治経済、宗教学、地球社会と個人、Theory of Knowledge、などです。それらの授業でも「なぜ」や「影響」を見ながら世界のどこで活躍をしても通用する知識やスキルを身に付けていきます。考える力、分析力以外に、プレゼンテーションする力も大学生や社会人になった時に必要です。

いくつかの授業で SIS の生徒は良いプレゼンテーションを仕上げるためにはまず良いテーマ選びから始めます。自分がわからないから知りたいことは何か、この授業なら皆も興味を持つテーマは何か、現実的に調べられるテーマは何か！テーマが決まったら、どうやって色々な角度から調べられるか、資料選びにこだわります。どんな流れで、どんな工夫をしたらわかりやすい・考えさせられるプレゼンテーションになるか。どうやったら自分のテーマに関する異なる見方も伝えられるか。質問にはどのように答えるか。卒業生は SIS でのプレゼン経験があったので大学・会社でも自信を持って調べたことを人前でプレゼンできると良く話してくれます。

いくつかの授業やプレゼンテーション・テーマを紹介すると、

アメリカはいつから、そしてなぜ Super Power と呼ばれるようになったのか。

小国日本はいつから、なぜ経済大国になったのか。

日・米の野球文化どう違うのか、なぜか。

人はなぜ宗教を信じるのか。

宗教は個人・小社会・世界にどんな影響を与えるのか。

キリスト教、仏教、ヒンズー教、神道などはどう違うのか・似ているのか。それはなぜなのか。

人はなぜ墓を作ったり、お葬式をしたり、ミイラを作るか。

Jazz のルーツや影響、結婚式のルーツは、日本語のルーツは何なのか・・・(又はその他あらゆる文化的な要素のルーツは何なのか。)

なぜ 60 年代のアメリカでは Hippy 現象があったのか。

ソ連ではなぜ共産・社会主義が崩壊したのか。

今、各地域や世界が抱えている諸問題の理由は何か。どんな解決策が試されてきてなぜ成功・失敗したのか。

今、各国や世界レベルで positive な動き、うまく行っている政策や協力はなぜうまく行くのか・・・人類は過去から何を学びどう前進しているのか。

今までに生徒が research and presentation をしたテーマを書き続ければきりがありませんが、SIS の生徒はこうしたプロセスを通じて国際社会で活躍するスキルや知識を身に付けていきます。上記のようなスキルは社会科以外の教科でも重視されています。又、海外での経験のある生徒はすでにそんなスキルを持って SIS に来て、さらに磨いて、そして SIS の国際的な教育環境に多に貢献してくれています。

シャミ・ダッタ

社会科 教員

千里国際学園 (SIS)/ 大阪インターナショナルスクール (OIS)



インドより 13 歳のときに来日。St. Mary's International High School, Tokyo を卒業後、ICU 大学へ (国際基督教大学・歴史学専攻)。その後 University of British Columbia, Vancouver にて日本歴史を専攻し M.A. を取得。1992 年より現職。OIS では英語で日本史の授業 (IB History) を行い、SIS では日本史・比較文化の授業などを担当。

ダッタ先生

生徒たちが「もっとうちの学校らしい先生」と称するシャミ・ダッタ氏は、ヒンディー語とバンジャビ語を母語として育ち、主に英語を学習言語として学び、そして 13 歳からの日本での生活で日本語を習得した、バイリンガルならぬ、まさにマルチリンガルな人です。普段一緒に仕事をしたり、生徒として日本語で授業を受けているときには、日本語が彼にとつての第一言語だと誰もがおもわず錯覚してしまうほどの日本語力で、ちなみに今回書いてもらった原稿にも日本語チェックはまったく入れる必要がありませんでした。SIS では日本語で、OIS では英語で日本史の授業を担当し、まさに本校の Two schools together を、そしてこのコーナーのタイトル【世界は千里で一つになる】を象徴するダッタ氏に「国際教育とは？」についての記事をお願いしました。

(SIS 入学センター：井藤真由美・記)



私と千里国際学園とのお付き合いは、開講準備の時から始まりです。「日本人に日本の歴史を日本語で教える外国人の先生がいる」と何度も話を聞いたダッタ先生の登場です。

ここで先生が強調する「考え、分析し、問う力」を、日本の学校である千里国際学園 (SIS) で育てています。インター校の OIS の教育の考え方が SIS の教育に生かされているのです。まさに、二つの異なる学校が一緒にあることにより、ユニークで素晴らしい教育が行われているのが千里国際学園です。

その教育実践の象徴がダッタ先生だったのでね。分かりました！

千里国際学園 中等部・高等部
〒652-0032 大阪府箕面市小野原西 4-4-16
電話 072-727-5070, FAX 072-727-5055
HP:www.senri.ed.jp, E-mail:admissions@senri.ed.jp